

凄い国へきてしまった！

— ガイドブックには書かれていない中国発見へ—

細谷 和宏

はじめまして。細谷 和宏と申します。埼玉県国際課の方々の多大なるご尽力のおかげをもちまして無事ここ山西大学へ留学することができました。

私は公務員を自己都合で早期退職しました。何か一生のうちに自分にしかできない何かを見つけたいと考えた末の決断でした。かっこいい決断でしたが何がしたいのか、正直具体的なビジョンがありませんでした。あれこれ考えたあげく、「それじゃ、まったく知らない国へ長期間滞在してみて、まったく未知の異文化に触れてみよう。その経験のなかでまだつかめないビジョンのしっぽでもつかんでこよう」と思い立ち、埼玉県の山西大学奨学生派遣事業に応募し、幸運にも参加できる機会をいただきました。約1年間の滞在期間、閉じこもっているとあっという間に過ぎ去ってしまいそうなので、私は時間があれば少しでもいろいろな人と出会い、異文化を体当たりで経験して、まだ見えないビジョンのヒントをつかみたいと思っています。

9月早々、まずクラス編成の筆記試験がありました。問題もすべて中国語です。私は初級クラスに編入されました。今まで大学でも中国語を専攻したことはなく、中国へ行きたいと思い立ってからあわてて勉強した次第で、あいさつや道の尋ね方など旅行会話の初歩をやっと覚えた程度でしたから当然の結果です。

クラスメイトは、日本男1、イギリス男1、ハンガリー男1、スペイン男1、バハマ男1、インド男1、ケニア男1、韓国男1、モンゴル男女各1（婚約者同士）、ポーランド女1、イタリア女1、カメルーン女1の13人です。お分かりのとおり、日本人は私1人です。他のクラスにも日本人はいません。昨年まで例年日本人留学生は十数名いたそうですが、今年に限って私がただ一人の日本人です。そのため授業中を含めて中国語以外はすべて英語を使います。友だちと食堂に行くのも買い物に行くのもすべて英語です。それにさらに輪をかけて今年から事務局の人事異動があり、日本語を解する職員が移動となり、事務局にも日本語を解する人が一人もいません。

先日こんなことがありました。別クラスのキューバの女性が私の部屋に来てドア越しに話かけてきて、きれいな英語で言っているのですが、言っていることがあまり理解できなかったところ、たまたま廊下を通りかかった友人のインド人に間に入ってもらい簡単な英語にしてもらったりしていたのですが、インド人特有のなまりのある英語のため、かえって分からなくなっていました。なにやらパスポートを持って、とかビザの更新などがところどころキーワード

でてきていたので、私は、あっそうかビザの居留許可申請に近いうちに行くのだと思い、生半可な理解でサンキューと言ってしまいキューバ人は自分の部屋に戻りました。重要で急務の連絡であれば事務局が直接説明にくるだろうと安易に考えていたこともいけなかったのです。ところが、翌日の午後、私が別の友人と昼食を摂っていると彼の電話に事務局が私を探しているのですぐ国際センターに戻るよにとの伝言が入ったのです。私は何かしてしまったかと慌てて戻ったところ、留学生数名がかなりの時間玄関前で待っている様子で、公安警察にこれからみんなですぐ行くとのことでした。私はその日に行くことをまったく理解していなかったのです。私はキューバ人に理解もせず返事をしてすまなかったと謝ると彼女も優しく私に、私がいい加減に説明したせいですと言ってくれました。事務局の人も直接説明しなかった私のミスですとも言っていただきました。

このような失態はほとんど毎日のようにあり、冷や汗の連続で留学生活が体当たりでスタートしました。まず、山西大学へきて確実に言えると思ったことは、とにかく英語で自分のしたいことをある程度正確に言えて聞き分けられる語学力がないと無理だなと思いました。日本語を解するスタッフもいなければ、誰かしらと意思の疎通を図りながらことに対処できる他の日本人留学生もいないのです。中国語初級クラスでも、特にヨーロッパ圏の留学生は自国でかなり中国語も勉強してきていて会話力はある程度あり、中国人の先生の言うことはほとんど理解できます。中国語の文法説明もうなずいて聞いています。付け焼刃の私の中国語など授業ではなんの役にも立たず、私が授業中に指され先生に回答を求められると、先生の言った中国語を理解できない私にポーランド人が英語に訳してくれてやっと理解するといったありさまです。今後どなたか中国へ留学をお考えの方は英語力と中国語のある程度の会話力を訓練してから渡航しないと、特にグラマーの授業を理解することが極めて困難であることを承知されていた方がいいと思います。

さて、私は毎月のこのレポートをとおしてお伝えしたいことがあります。

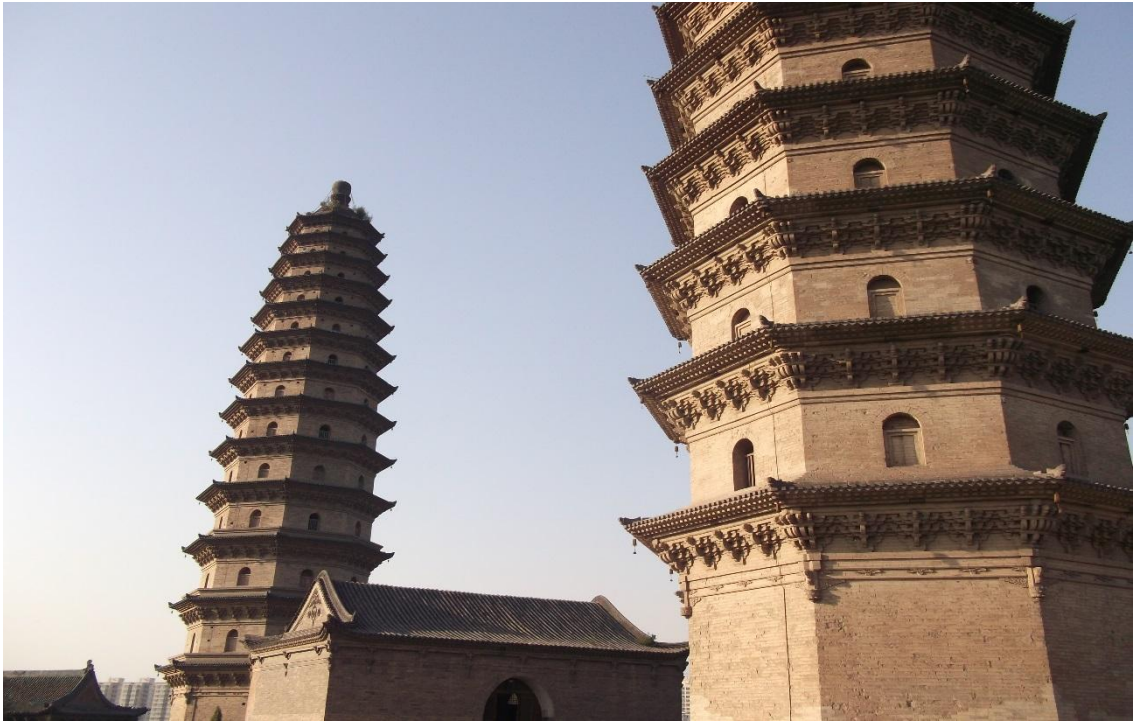
それは、どこどここの観光地に行くととてもきれいだったというガイドブック的なレポートより、中国って本当はどんな国なの？と中国人の実生活がわかるような中国の実態みたいなものを僕なりに感じたままに生の声としてお伝えしていきたいと思っています。中国人には当たり前な生活習慣や文化が、日本人である私にとってとても奇異に感じられたことなど、どうしても日本人として理解できない事柄を感じるままにお伝えできたらと思います。たとえば、大気汚染問題の実態とか、片側3車線もある大きな道路を猛スピードで往来する車のなかをすれすれにかわしながら歩く交通マナーであるとか、普通に人前で道路に唾を吐く若い女性などを今後中国に来てみたいと思われる方にガイドブックに書かれていない中国をお伝えできたらと考えております。

最後になりましたが、埼玉県上田知事におかれましては、埼玉県親善大使委

囑式において、貴重なご体験を交えたユーモアたっぷりの励ましのお言葉をいただきまして感謝の念に堪えません。こんな魅力的な知事のために何か僕なりにできることはないかと強く思った次第です。なんでもいいのでなにかを吸収してきてくださいとの知事のお言葉のとおり、帰国後少しでも多くのことを学び、県に貢献できるよう勉強だけでなく、いろいろな体験をしたいと思います。国際課の皆様はもちろんのこと、ご尽力いただいた関係各位にこの場をお借りしましてあらためてお礼を言わせていただきます。このような貴重な経験の機会を与えていただき本当にありがとうございました。知事の励ましのお言葉に恥じないよう一生懸命がんばりますのでこれからもよろしくお願いいたします。



秋の大運動会 ナショナルチーム（ビギナーズクラスの仲間）
授業は厳しく？遊ぶときは思いっきり楽しく とても仲のいいクラスです。



太原市内の双塔寺（歩いて3時間かかりました）



塔の中で記念撮影 みんなやや疲れ気味です